

## 第 64 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬	(株)		興和創薬	(株)	グラナテック	
中外製薬	(株)	ゼロータ	(株)	大塚製薬工場	ビーフリード	
第一三共	(株)	ネキシウム		田辺三菱製薬	(株)	カナグル
(株)	ジェイ・エム・エス					

(ABC 順)

## 編集委員会

編集委員長：伊豫田 明  
 編集委員：赤羽 悟美 弘 世 貴久 池田 隆徳  
 石井 良和 片桐 由起子 近藤 元就  
 三上 哲夫 水野 雅文 中野 裕康  
 佐藤 二美 島田 英昭 和田 弘太  
 編集顧問：杉山 篤 津熊 久幸

(ABC 順)

## 編集後記

9月に入ってもなお暑い日が続いていますが、鱗雲や虫の音に秋の始まりが感じられるようになりました。今年も残すところ3ヶ月あまり、先生方におかれましてはご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。

米国の科学研究関連予算の大幅削減案や英国のEU離脱による研究費補助金の減額は、医学研究の減速と人材枯渇をもたらし、甚大な影響を及ぼすのではないかと懸念されています。一方で、昨年、大隅良典先生が「オートファジーの仕組みの発見」でノーベル生理学・医学賞を受賞されたことは、世界の研究者に勇気と希望を与えました。それから早くも1年が経ち、2017年度ノーベル生理学・医学賞の発表(2017年10月2日(月))に向けて、今年も受賞者の予想が盛り上がっています。医学研究の明るい話題に注目したいものです。

ここに東邦医学会雑誌64巻3号(2017年9月号)およびToho J Med Vol.3 No.3 (September 2017)をお届けします。今号は、赤坂喜清先生による巻頭言「米国学会にみる昨今の研究事情」に続いて、第70回東邦医学会総会企画シンポジウム「臓器移植における基礎と臨床—最近の知見」の講演内容に基づいた総説を相川厚先生、宍戸清一郎先生、鈴木秀明先生に執筆して頂き、大森病院CPC報告を宮下弘先生にご執筆頂きました。また、橋本卓史先生から「東邦大学医療センター大森病院における小児科医、臨床心理士、精神科医による連携医療」をご寄稿頂きました。さらに、

医療センター大森病院総合診療部・瓜田純久教授の教室紹介、村上義孝先生による論評「[P値]至上主義の終焉へ向けて」を収載しております。いずれも、示唆に富んだ読み応えのある内容となっております。皆さま、是非お読みください。

今号は、東邦医学会雑誌およびToho Journal of Medicineが今年6月よりオンライン投稿・査読システムへ移行してから初めての号となります。お忙しいなか原稿をご執筆くださいました先生方、査読の労をお取りくださいました先生方、さらに編集事務局・田村みどり様に心より感謝申し上げます。

(赤羽悟美)

## 東邦医学会雑誌 第64巻 第3号

平成29年9月1日発行

編集兼 伊豫田 明  
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号  
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎